



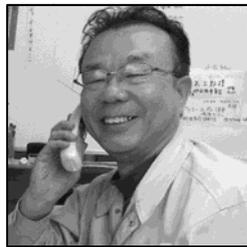
塗装だより

横浜塗装職人が送るニューズレター・その2

見積り担当菊池です

週末に連続して雪が積もりました。忙しい時期に、困りました。かなり雪が残った日曜日、お見積りに出かけました。幹線道路はともかく、裏路地のことを考えると強行軍です。ところが、住宅街の皆さん協力して雪かきをしておられて、坂道でも、楽に登れました。用意していたチェーンを使うことなく無事見積りを終えることができました。それでも、二週間延びたお宅もあります。電話でお詫びをすると「この天気だから仕方がないよね」と仰ってくださいました。順番に行きますので、お待ちください。

株式会社横浜塗装職人
見積り担当 菊池光也



代表の曾根です

株式会社横浜塗装職人
代表取締役 曾根省吾



二月は先日大雪が降ったと思ったら、一週間経たないうちにまた記録的な大雪などで大忙し。特に屋根塗装があるお宅では、工期が伸びてお客さんにも迷惑がかかってしまうためスコップを買って対応。

マンションの大規模修繕も工事中なので、今年は大忙しの時期です。

社内では事務員の入社や職人星野の職業訓練指導委員免許の合格、島田と曾根カズ、私と三人での樹脂接着剤注入施工技能士の受験と、今年も仕事の質を上げるため意欲的にスキルアップを目指します！

今月のお客様

- ① 横浜市港北区
大規模マンション修繕
防水専門・島田が施工
- ② 横浜市神奈川区白旗向町
サイディング外壁、コロニアル屋根、シャッター
一級塗装技能士・川口が塗装
- ③ 横浜市泉区新橋町
大工工事、モルタル外壁
板金技能士・大工の内田が補修

など



今回施工に伺わせていただいたのは、神奈川区菅田町にあるモルタル外壁の住宅。

外壁全面に走る大きなクラック（ひび割れ）の補修は大切な施工です。放置したままや、補修が不十分ですと、雨漏りの原因にもなりかねません。

小さなクラックであれば塗料で十分に埋まるのですが、大きいものだとパテやシールを使用します。

今回は、酷過ぎなかったので、パーフェクトフィラーを使用して塗装しました



この工事の詳細は次のページ→

横浜塗装職人、今月の施工

神奈川区の住宅塗装

今月の施工現場は神奈川区菅田町にあるモルタル外壁の戸建て住宅。

外壁全面に大きなクラックが走ってしまいました。クラックを放っておくと雨漏りの原因になったり、ひび割れたところから水が浸入して内部から腐らせてしまったりと家を傷める原因にも繋がりますので、塗装前にしっかりと補修していきます。



塗装前、クラックが多く発生

まずは足場を家のまわりに組み上げる作業。クサビ足場と言って、幅広で1人乗るくらいならばビクともしない足場を専門の職人たちが組みあげます。昔ながらの単管足場だと両手を離してしまうと、とても不安定になり作業に集中できない部分がありますが、その点クサビ足場は安定性がとても高く、職人から好まれる足場でもあります。仕上がりと関係の無いように思える工程ですが、あらかじめ計算しておいた通りに組まないと塗装職人の作業がやりづらくなったり、逆に上手い足場職人が組み上げたところは塗装の質も上がったりする、とても重要な工程です。



足場が組み終わったら、屋根の上までメッシュシートをかけて高圧洗浄を行っていきます。屋根辺りまでしかメッシュシートを組んでいない現場を見かけることもありますが、塗料は風に煽られて意外なほど遠くまで飛び散ってしまいうもの。それを防ぐためのメッシュシートでもあるので、高圧洗浄で出た汚水はもちろん、塗料を飛散させないためにもしっかりと現場の周囲を覆っておきます。時にはメッシュシート2枚重ねにすることも。塗装における足場にも言えることですが、思い切って作業した方が仕上がりが良くなります。メッシュシートでしっかりと覆うことで、高圧洗浄を徹底的に行えるようになります。結果、塗料の密着力を上げることに繋がります。1日近くの間をかけて家が綺麗になったら、次はいよいよ塗装の準備。養生です。養生はマスキングテープなどを使って、塗装しなくても良いところを覆い隠していく作業のことを言います。あらかじめ塗装をしないところや線分けを綺麗に出したいところに養生をしておくことで余計なところに塗料をつける心配もなく仕上げる事が出来ます。

塗装の準備が終わったら下塗りを塗る前にクラックの補修をしていきます。深いクラックの場合にはコーキングを打って隙間の奥まで埋めるように指で馴染ませるのですが、今回は見た目より深刻なクラックでは無かったため、下塗りを使う微弾性のパーフェクトファイラーと言う材料を使って、クラックの溝へ擦り込むように刷毛で塗装して行きました。こうして他のところより層を多く重ねることでコーキングでクラックを埋めると跡が残ってしまうことを防ぎ、しっかりとクラックを埋める事が出来るようになります。



クラックの部分にファイラーを1層多く塗り終わった後に下塗りの中塗り、最後の上塗りを進めていきます。狭い部分はローラーで無理やりに塗装すると塗料溜まりが出来てしまったり、掠れが出たり、はみ出してしまったりと仕上がりが悪くなってしまいうので、先に刷毛を使って塗装しておきます。これを専門用語でダメ込みと言い、塗装では良く使われる手法の1つです。足場が組めないベランダの上の外壁部分などは脚立を使って作業しました。こちらのお宅は外壁と隣との境界が狭いので、体を付けて塗料を擦ってしまわないように気を付けてながら作業。最後にはあれほど多く見えていたクラックの跡も分からない、綺麗な仕上がりました。

その他の施工



腐蝕が進んで、穴があいた鉄階段

こちらは川崎市川崎区で外付けの鉄階段を補修し、塗装した事例です。

外付けの鉄階段は、常に紫外線と風雨にさらされているため傷みや錆、傷みが進むと腐食して、穴があいてしまったりします。そうすると人が乗った時に支え切れなくなると転落事故など大きな怪我に繋がります。今回の現場もかなり傷みが進んで、あちらこちら大きな穴があり、乗るとぐらぐらと揺れるところも…。そこで、専門の職人が傷んだ箇所を溶接して補強し、その上から厚い3回塗りを施しました。このように上から覆いかぶせるような塗装ではなく、傷みの根本からしっかりと直すことが、安全性と耐久力を高く仕上げるポイントにもなります。

塗装職人の“職人”

月毎に職人のプロフィールと近況、コラムを掲載します。
仕事中は見られない素顔を公開！？



今月の職人

一級塗装技能士、塗装指導員

竹内 久雄 (たけうち ひさお)

塗装の仕事に対するプライドは並々ならぬものを持ち、妥協を許さない竹内。一方では三人の孫娘たちをととても可愛がっている、いいおじいちゃんでもあります。昨年に生まれ、来月には初節句を迎える孫のために雛人形を贈ったと嬉しそうに話す、そんな職人・竹内の話を今回は聞いてきました。



塗装職人として、下地作りや吹き付け、調色（もちろん塗ることも）といった仕事は基本になります。とりわけ、私は調色が得意ですので、お客様のお宅に伺う時は、赤・黄・白・黒といった基本的な色を揃えた調色セットを持参し、お客様のイメージする色を作らせていただくことがあります。プライベートでは、もうすぐ三人目の孫娘が初節句を迎えるので、お祝いに雛人形を贈りました。上の子にも贈っていますし、お下がりはおかわいそう。記念になるので贈れるうちは贈ってやろうと思ったのです。孫が生まれる前は、絶対に爺バカにはならないと思っていたのですけどね（笑）

塗装の豆知識

今号は、当社でもよく施工させていただく「モルタル外壁」についてお話させていただきます。

モルタル外壁は、砂とセメントを水で固めた物を、網状になった外壁のネットのようなものの上に塗り付けた、塗り壁の一つです。難点としてはクラック（ヒビ）が入りやすかったり重かったりとあるのですが、サイディング外壁にあるシールのジョイントがなかったり、耐火に優れていたりと良い外壁でもあります。

当社で施工が多いモルタル外壁は三つ程。スタッコ外壁、リシン外壁、吹き付けタイル外壁です。スタッコとリシンはガラガラとした外壁なので塗料の吸い込みが多いのですが、吹き付けタイルの外壁はつるつるとしているため、一番塗料の消費量が少ない外壁です。

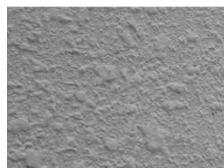
モルタル外壁で一番多いのは、やはりクラック（ひび割れ）の問題です。



スタッコ壁



リシン壁



吹き付けタイル壁

小さな髪の毛程のクラック（これをヘアークラックと言います）が発生しやすいのですが、こういった小さなクラックは、しっかりと塗料を塗り込めれば埋まってくれるので、特別な施工は必要ありません。出来ればシリコン系のヒビ割れに強い塗料を選んでいただくと、なおのこと今後のひび割れにも強く対応できます。

もっと大きなクラックになると、塗料だけでは埋まりません。パテ材を使ってクラックを埋めるのですが、また中途半端な溝だと埋めづらいため、Uカットで溝を深くしてパテで埋めます。

下塗り材も、水のようなシーラーではなく、マヨネーズのようにもったりとした質感の微弾性のフイラーという下塗り材を使用します。この下塗り材をたっぷり塗布することで、小さなクラックなどは埋めてしまえるのです。塗るのに少々手間取りますが、今後の事を考えるとしっかりと下塗りをしていただく方が良いでしょう。

外壁は、つるりとした吹き付けタイルと、リシンやスタッコなどのガラガラとした質感で、実は塗料の使用缶数に二倍〜三倍の違いがあります。単純に、吹き付け外壁に五缶使用するとすれば、スタッコ外壁などは最大で十五缶。中塗りりと上塗りりには同じ塗料を使用しますので、考えると莫大な量になります。しかしこの缶数の違いが、手抜きがされているかどうかの判断基準にもなるかもしれません。もちろん多ければ良いというわけでもありませんので、しっかりと見積りをしていただければ幸いです。

水回り、内装リフォーム、屋根吹き替え

ショールーム、チラシ等の宣伝広告、営業マン・・・
リフォーム業者さんは、どれほどの莫大な経費を掛けているのでしょうか？

それは必ずどこかで品質にしわ寄せが行っているということと同じ意味をもちます。当店では今のところ、リフォームの告知はここだけで、経費はほぼゼロに近いです。

さらに職人は、社長の元々の友人、知り合いですので、信頼関係はバッチリ。

他のリフォーム業者さんと同じ施工と品物でしたら、必ず質の高いご満足頂く工事が出来ると思います。

ご計画中の方は、是非お問い合わせください。



職人・馬上（まがみ）



職人・内田（うちだ）

仲の良いご友人、お知り合いにご紹介ください

住宅塗装は、商店街で売っている物とはワケがちがいます。

「紹介したけれども、もし工事が悪かったら・・・」

などと考えてしまうと、とても知り合いなどに紹介出来るはずありません。

どうか是非、あなたが苦勞した業者選びの結果に塗装職人を選び、そしてその工事での満足度を、そのまま周囲の方々にお伝えください。

あなたの「誠意」が通じるような工事を、責任を持って私たちが施工させていただきます。

無料見積りは 0120-382-361

9:00~20:00 土日も営業

株式会社塗装職人

〒240-005

神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町 1235-9

西谷駅から16号線沿いを左にまっすぐ、徒歩10分程。

青い掘立小屋と「日本ペイント」「塗装職人」の看板が目印です。

横浜塗装職人

検索

編集後記

塗装だより第二号、いかがだったでしょうか？
これを書いている二月現在、先週積もった雪がまだ融けておらず、寒さも弱まる気配がありません……。
オリンピックの開催されているソチでは気温が上昇しているようですが、日本でも早く春がこないかと待ちわびながら毎日を過ごしています。

春といえば、塗装職人では一級塗装技能士の職人・星野が難関である「職業訓練指導員」に合格しました！こちらは塗装の技術を職業訓練校などで教えるための指導者としての免許。今後も、星野に続けと吉報が届く事を願います。

今月の塗装だよりも、よろしければお友達やご近所の方にも是非、見せたり紹介してくださいね。 後記担当・M.M